

科目名	管弦楽法Ⅱ	形態	講義	開講期	秋学期
担当教員	小林 聡	単位	2	年次	3

＝授業科目の目標＝

管弦楽法Ⅰに続き、管弦楽法におけるテクニックを、Beethoven から年代順代を学んでいきます。大編成のオーケストラ用い、ピアノ作品等をオーケストラ編曲するための管弦楽法の幅広く多岐に渡るテクニックを身につけることを目的とします。

＝履修の条件と学習の方法＝

オーケストラで使われる楽器に興味を持っている人を対象にします。

2/3以上の出席がない場合、理由に関わらず、失格になります。遅刻、早退、中途退席3回で欠席1回と見なします。

また、授業時間の半分の時間（45分）を超過しての遅刻、早退、途中退席は欠席扱いとします。

＝授業内容＝

- 1回 導入
- 2回 Beethoven の管弦楽法(1)
- 3回 Beethoven の管弦楽法(2)
- 4回 Beethoven の管弦楽法(3)
- 5回 Berlioz の管弦楽法(1)
- 6回 Berlioz の管弦楽法(2)
- 7回 Berlioz の管弦楽法(3)
- 8回 Rimsky-Korsakov の管弦楽法(1)
- 9回 Rimsky-Korsakov の管弦楽法(2)
- 10回 Rimsky-Korsakov の管弦楽法(3)
- 11回 Ravel の管弦楽法(1)
- 12回 Ravel の管弦楽法(2)
- 13回 Ravel の管弦楽法(3)
- 14回 Ravel の管弦楽法(4)
- 15回 まとめ

＝成績評価の方法と評価の基準＝

出席、授業態度、随時課す提出物によって評価します。

(85点以上A、70～84点B、60～69点C、59点以下D)

＝テキスト（必携）＝

書籍名：新総合音楽講座8 管弦楽法概論

著者名：河江一仁

出版社：財団法人ヤマハ音楽振興会

書籍名：ムソルグスキー／展覧会の絵（ラヴェル編曲）ポケット・スコア OGT-221

出版社：音楽之友社